

## 割見塚古墳(富津市)

前方の右手のこんもりとした木々の中に割見塚古墳が所在する/南西側から見たところ



## 飯野ふる里散歩道5

前方二十メートルにある古墳は、内裏塚古墳群中最大の方墳、割見塚古墳である。墳丘は一辺四十メートル、高さ五メートルを測り、昭和五十八・五十九年度の確認調査で、外辺二〇六〜二〇七メートルの大形二重周溝の存在が明らかにされた。千葉県の方墳の中では栄町竜角寺岩屋古墳、山武市駄ノ塚古墳、木更津市松面古墳に次いで第四位の墳丘規模であるが、周溝全体を含めた規模は岩屋古墳にほぼ等しい。

昭和三十九年と五十九年の発掘で、砂岩切石積み複室構造の横穴式石室の存在が明らかにされた。石室は羨道・前室・後室・棺室に分かれ、全長は十一・七メートル、石室手前側に八字形に構築された前庭部を含めた総全長は十八・七五メートルで、千葉県下最大の石室となっている。石室内はすでに盗掘を受けていたが、前庭部を中心に馬具・鉄鍔・弓金具・弓弰・直刀・須恵器・土師器などが出土している。

稻荷山古墳・三条塚古墳に後続する古墳時代終末期の盟主的な古墳であり、七世紀前半の築造と推定される。内裏塚古墳群内には当古墳のほか、亀塚・森山塚・野々間・稻荷塚などの方墳が存在し、須恵国の隆盛を物語っている。なお当古墳は、稻荷塚とともに大正十二年国史跡の仮指定を受けている。

平成十九年五月吉日

飯野地域活性化推進協議会

アップで見たところ



近づいて墳丘を左手前から見たところで、手前は周溝/7世紀前半築造の方墳で、二重の周溝が巡っていたと云う



墳丘に登ってみる



この辺りが境頂



左奥から見たところ/左手が墳丘で正面は周溝



左手の墳丘を見たところ/正面は丁度方墳の隅の辺りか



更に左手の周溝を見たところ/右手が墳丘



これは右奥から背後の周溝を見たところ/左手が墳丘



左手の墳丘を見たところ/正面は丁度方墳の隅の辺りか



更に左手の周溝を見たところ/右手が墳丘



これは東側から墳丘を見たところ/木々に覆われていて良く見えない



参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu\\_warimi/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu_warimi/)

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2014/03/31/222154>

<http://kohunist.choitoippuku.com/%E5%AF%8C%E6%B4%A5%E5%89%B2%E8%A6%8B%E5%A1%9A%E5%8F%A4%E5%A2%B3.html>

